

授業科目	＊対人関係論						実務家教員担当科目	-	
単位	1	履修	必修	開講年次	1		開講時期	前期	
担当教員	水貝 洵子								
授業概要	看護実践においては疾病やその治療に関する知識や看護技術に加え、看護の対象となる人の尊厳を尊重し、看護の対象となる人やその家族と人間関係を構築し支えていく力が必要とされる。本講義では、対人関係の基礎を心理学的視点から理解することを主たる目的とする。ここで扱う対人関係の基礎とは、知覚、記憶、学習、社会的認知、対人行動、集団と個人、自己認知、ストレスなどを指す。講義を中心に行うが、適宜体験的なワークも取り入れる。								
授業形態	対面授業				授業方法	ディスカッション グループワーク			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 対人関係の基礎となる諸概念の概要を理解し、説明することができる。 2. 講義で学んだ心理学的知識を用いて、自身の日常的な対人関係や対人行動について振り返り、他者に説明することができる。								
理想的レベル	標準的レベルに加え、自らの臨床実践や援助に役立てるために、講義で学んだ心理学的知識を臨床場面と結び付けて考えることができる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験			70						
小テスト									
レポート			30						
発表（口頭、プレゼンテーション）									
レポート外の提出物									
その他									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	NU11113J
学習課題（予習・復習）									1 回の目安時間（時間）
該当箇所の復習									1
授業計画									
第 1 回	テーマ：オリエンテーション 対人関係にかかわる心理学的知識を学ぶ意義について説明を行う。さらに心理学がどのような学問であるかについて解説する。								
第 2 回	テーマ：心の仕組み 1 対人関係を構築するうえでの基盤となる人の営みとして、知覚および記憶を取り上げて心理学的な視点から解説する。								
第 3 回	テーマ：心の仕組み 2								

	対人関係を構築するうえでの基盤となる人の営みとして、学習を取り上げて心理学的な視点から解説する。
第4回	テーマ：対人関係の構築1 対人関係構築の初期に生じる印象形成について取り上げ、印象形成の過程や影響を及ぼす要因などについて解説する。
第5回	テーマ：対人関係の構築2 対人関係の成立や維持についての心理学の諸理論を紹介する。また、対人葛藤が生じる要因やその対処などについても取り上げる。
第6回	テーマ：ひとの態度とその変容 心理学における態度とは何かを説明し、ひとの態度を変容させる認知的不協和や説得コミュニケーションについて取り上げる。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第7回	テーマ：円滑なコミュニケーションのために1 心理学的な視点からコミュニケーション過程について解説する。また、コミュニケーションの促進要因や阻害要因について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第8回	テーマ：円滑なコミュニケーションのために2 自己開示とアサーションを取り上げて解説し、適応的なコミュニケーションの在り方について検討する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第9回	テーマ：集団と個人1 集団が個人に与える影響について、社会的抑制等を取り上げ説明する。また集団での意思決定において陥りやすい行動として同調などの概念を説明する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第10回	テーマ：集団と個人2 会社などの組織における集団構造やリーダーシップについて解説する。また集団での情報伝達の中で陥りやすいリスクやその対処について説明する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第11回	テーマ：よりよい対人関係のための自己認知1 対人関係と密接に関係する自己認知を取り上げる。心理学ではどのように自己を対象に研究が進められてきたかについてや、自己意識、自己評価といった自己に関する諸概念について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第12回	テーマ：よりよい対人関係のための自己認知2 対人関係と密接に関係する自己認知を取り上げる。自己を理解する視点のひとつとしてパーソナリティを取り上げ、心理学におけるパーソナリティ研究の変遷やパーソナリティ研究の諸概念などについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第13回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント1 対人関係と密接に関係するストレスを取り上げる。ストレスに関する諸理論を紹介し、心理学的な視点からストレスをどのように捉えるのかについて解説する。
第14回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント2 対人関係と密接に関係するストレスを取り上げる。ストレスへの対処方法について心理学的な視点から解説する。適宜、個人ワークおよびグループワークを実施する。
第15回	テーマ：まとめ これまでの授業内容の振り返りを行う。

テキスト	系統看護学講座 基礎分野『人間関係論』 石川ひろの・奥原剛・岡田佳詠・太田加世・片桐由紀子・塚本尚子・宮本有紀(著) 医学書院 『ワークショップ心理学』 藤野忠明・栗田喜勝・瀬島美保子・橋本尚子・東正訓(著) ナカニシヤ出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	レポートで提出された授業内容に関する質問やコメントについては、必要に応じて授業内で取り上げ回答を示す。
課題に対するフィードバックの方法	予備知識は必要ないが、講義内で得た知識を自らの体験と結び付けて考える姿勢や態度が期待される。授業中に実施されるワークに積極的に参加する姿勢が求められる。
学生へのメッセージ・コメント	